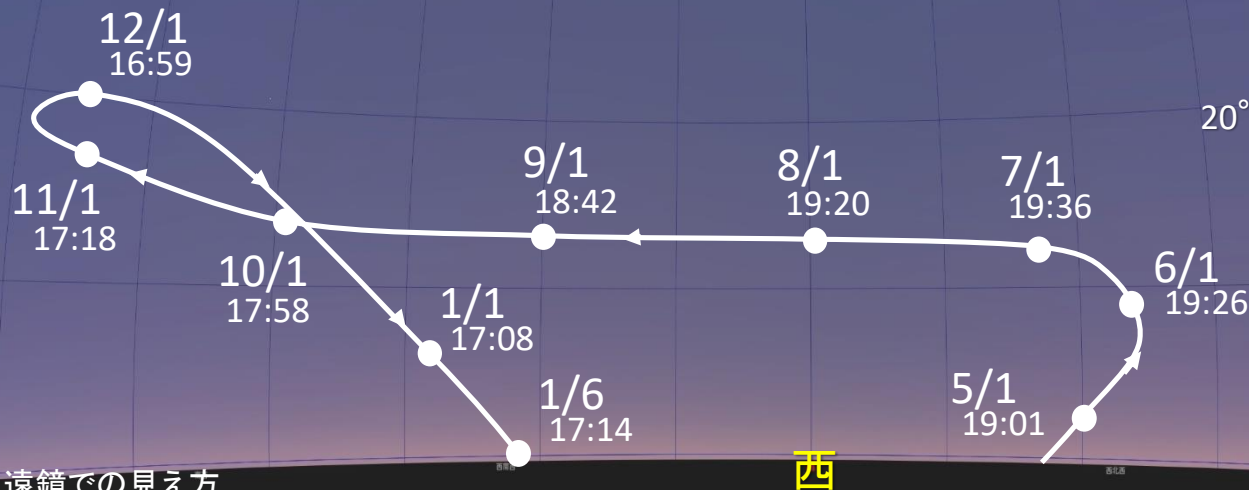


2021年5月～12月

宵の明星

【日没後30分の金星の位置】



6/1 7/1 8/1 9/1 10/1 11/1 12/1 12/15 1/1

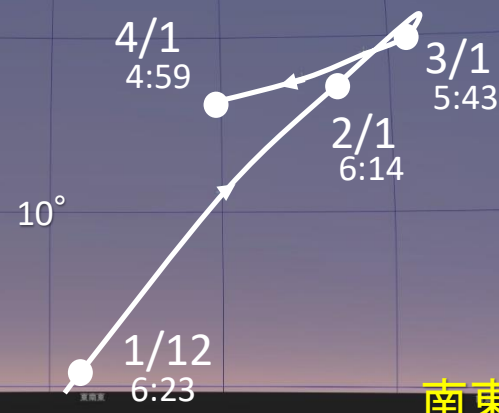


1/9
内合

2022年1月～3月

明けの明星

【日出前30分の金星の位置】



1/15 2/1 3/1



望遠鏡での観察がおすすめ

図はステラナビゲーターで作成

望遠鏡での観察がおすすめ

今年度も金星の満ち欠けを継続的に観察できるチャンスです

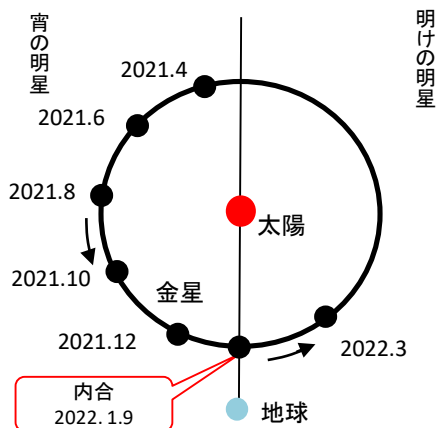
2021年度(令和3年度) 金星観察のポイント

宵の明星なら、6月～12月にかけて夕方の西の空に観察できます。

昼間の金星なら、11月～12月中旬と、1月下旬～3月が太陽から見かけ上離れるので、観察適期です。望遠鏡の目盛環導入により、昼間でも観察できます。
特に、11月～12月と、1月下旬～3月にかけては大きく欠けた様子や、日々形や大きさが変わっていく様子が観察できます。

(東方最大離角10/30、最大光度12/8、内合1/9、最大光度2/9、西方最大離角3/20)

※内合は2022年1月9日。この前後約2週間は太陽に近いので観察が困難です。



金星観察
資料2021

制作:
ぐんま天文台

主な観望天体の見ごろの季節 2021年度



木星



土星



M57 (リング星雲)



M15
(ペガスス座球状星団)



M31
(アンドロメダ銀河)



二重星団 h-x

観望天体	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
金星	惑星		←								1/9内合	←	
火星	惑星	→											
木星	惑星					←	←	←	←	←			
土星	惑星					←	←	←	←	←			
天王星	惑星							←	←	←			
海王星	惑星							←	←	←			
エスキモー星雲 (NGC2392)	ふたご座 惑星状星雲	→									←	←	
カストル (ふたご座α)	ふたご座 二重星	→									←	←	
かに座イオタ (かに座ι)	かに座 二重星	→	→									←	←
M82 (葉巻銀河)	おおぐま座 系外銀河	→	→	→								←	←
アルギエバ (しし座γ)	しし座 二重星	→	→	→									
M104 (ソンプレロ銀河)	おとめ座 系外銀河	←	←	→									
M51 (子持ち銀河)	りょうけん座 系外銀河	←	←	←	→								
M3	りょうけん座 球状星団	←	←	←	→								
ブリケリマ (うしかい座ε)	うしかい座 二重星		←	←	→								
M13	ヘルクレス座 球状星団			←	←	←	→						
M11	たて座 散開星団				←	←	←	→					
M57 (リング星雲)	こと座 惑星状星雲				←	←	←	→					
アルビレオ (はくちょう座β)	はくちょう座 二重星				←	←	←	→					
M27 (垂鈴星雲)	こぎつね座 惑星状星雲				←	←	←	→					
M15	ペガスス座 球状星団					←	←	←	→				
M52	カシオペア座 散開星団							←	←	←	→		
M31 (アンドロメダ銀河)	アンドロメダ座 系外銀河							←	←	←	→		
アルマク (アンドロメダ座γ)	アンドロメダ座 二重星							←	←	←	→		
M45 (すばる・プレアデス星団)	おうし座 散開星団								←	←	←	→	
h-x (二重星団)	ペルセウス座 散開星団								←	←	←	→	
M42 (オリオン大星雲)	オリオン座 散光星雲									←	←	←	→
M37	ぎょしゃ座 散開星団									←	←	←	→

※表中に矢印が記載されていても、見える時間が限られる時期があります。 ※M31、M45は大型望遠鏡の視野より大きな天体なので観望不向きです。

※ぐんま天文台での観望(21時ごろまで、65cm、150cm望遠鏡による観望)を想定しています。(金星は低空のためぐんま天文台大型望遠鏡では観望開始直後だけ見られます。)